

事業番号	09 02 01	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	体験的食育推進事業				担当課	部局	農政部	
						課・室	農業政策課農産物マーケティング室	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:marketing@pref.nagano.lg.jp">marketing@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成			実施期間	H23 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 農産物の生産における様々な体験の機会を通して、食に対する関心と理解が深まる</p> <p>【地域支援事業】 地域における食育推進活動を行う食育ボランティアの育成等により、日本型食生活の普及を促進する</p>									
現状（予算編成時）	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 年間を通じた子どもたちへの農業体験を通じて、食を大切に作る心や農作業の楽しさ等を学ぶ体験的食育の推進を図る。 実績:H23:11団体、H24:6団体、H25:7団体、H26:4団体</p> <p>【地域支援事業】 「食」と「農」の推進活動に取り組む市町村・団体等への支援を通じて、地域における日本型食生活の普及促進を図る。 指標:食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民の割合:56.6%(H26.10実施)</p>									
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である。また、体験的食育を県内各地で拡大させるためには、広域行政としての県の関与が必要（消費・安全対策交付金実施要綱）							
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)									
	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 子どもを対象とした農業体験活動を実施する団体への活動支援を行うとともに、優良事例などの発信を行い、活動の広がりを目指す</p> <p>【地域支援事業】 食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民の割合 H26 56.6%→H27 目標 60%以上</p>									
	② 事業内容 (単位:千円)									
	項目	実施方法	H27実施内容		H26 (当初)	H27 (要求)		(予算案)		
	子ども農業体験活動支援事業	補助金・交付金	実施団体への活動支援		1,000	620				
	地域支援事業	補助金・交付金	栄養士会:料理コンテストの開催、食育リーダー育成等 JA長野中央会:食農教育実践研究会の開催		2,030	1,500				
	合計				3,030	2,120		0		
事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案			
	予算額	前年度繰越								
		当初予算	3,121	2,702	3,030	2,120				
		補正予算								
		合計(A)	3,121	2,702	3,030	2,120				0
	Aの財源	一般財源								
		県債								
		国庫支出金	3,121	2,702	3,030	2,120				
		その他	0	0	0	0				0
	決算額(B)	2,602	2,167							
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.10					
	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	826				0	
	概算事業費(B(A)+C)	5,079	4,644	5,507	2,946				0	
指摘事項等への対応		(指摘事項等) H25の実施団体が限定的である。食育は大勢の人に理解してもらうことが必要。もう少し裾野が広がる食育事業も検討した方が良いのではないか。				(対応) 体験的食育推進事業では、子どもの農作業体験や、小中学生を対象とした料理コンテストの開催、県内各地のスーパー等で行う食事・栄養相談、食育に関する学習会、食育リーダーを対象とした研修会など様々な取組を行っている。これらを総合的に行うことにより、食育を推進している。				
要求からの主な変更点										